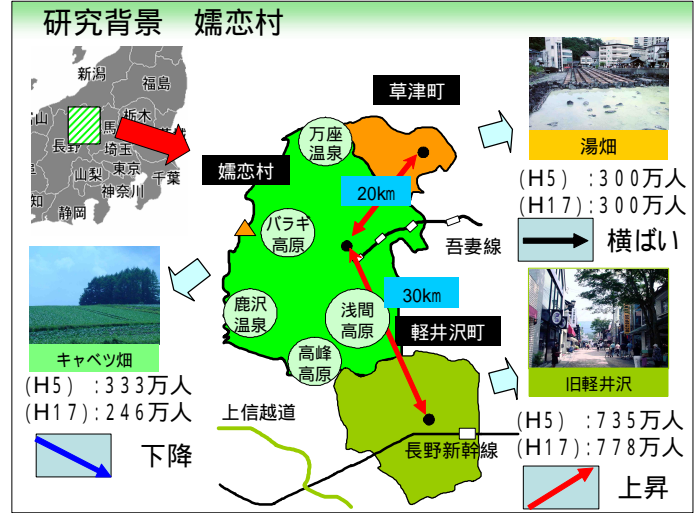


# ファミリー層の観光地選択における嗜好特性の分析 — 嬭恋村への提案 —

交通計画研究室 H03202 大坪 裕哉  
指導教員 岩倉 成志

## 嬭恋村の風景



研究フローと目的

**背景** 草津温泉, 嬭恋村, 軽井沢が互いの長所を生かし短所を補いあう観光戦略が必要

**目的** 3つの観光地を差別化し**連携を強める**提案

東京圏の旅行者に関するアクティビティの観光嗜好性を分析

**方法** 3つの観光地のアクティビティの特色を調べ、アクティビティの強弱を明確にする

嬭恋村で実施可能なアクティビティに着目した観光旅行者の全国観光地の嗜好特性

	属性別	単独	複数アクティビティ
キャンプ	30,40歳代 子供あり	ハケ岳	特産品買い物・飲食との組み合わせで 関東甲信越, 北陸
登山・ハイキング	50歳代 以上	上高地	
スキー	30,40歳代 子供あり	志賀高原 越後湯沢	温泉との組み合わせ 草津温泉

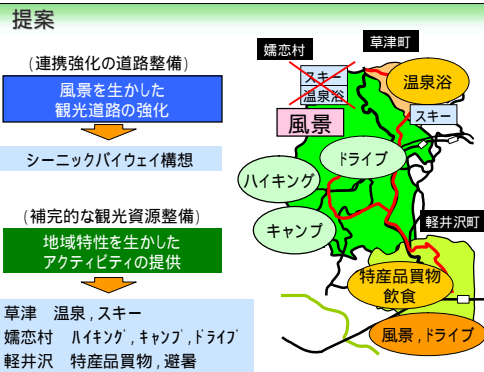
キャンプ, ハイキングの推進に力を入れることが大切

嬭恋村で実施可能なアクティビティに着目した草津温泉, 軽井沢のアクティビティ強弱

	草津温泉	草津温泉	軽井沢	軽井沢
	全国割合	草津温泉割合	全国割合	軽井沢割合
風景	50%	35%	50%	40%
ドライブ	24%	15%	34%	70%
スキー	3%	35%	0%	0%
特産品買物飲食	41%	15%	69%	65%
計	548回	20回	798回	20回

弱 強 弱 強

温泉+風景 温泉浴+スキー 風景+温泉浴 風景+ドライブ  
温泉+ドライブ 温泉+特産品 風景+特産品



まとめ

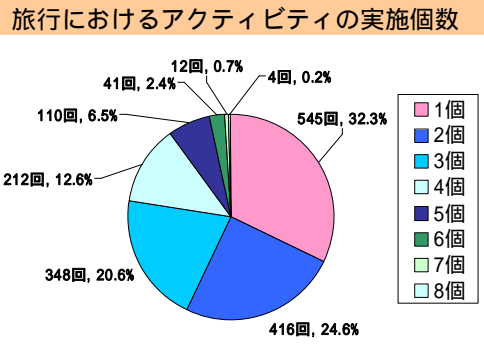
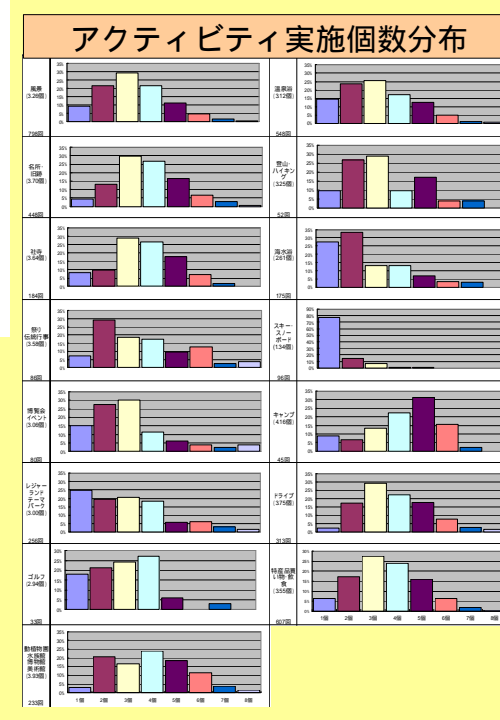
3地域の観光地政策

キーワード **補完と連携**

アクティビティを補完し合う関係 一体の観光地とするアクティビティを提供 それぞれの観光地が連携, 特化

特色のある観光地を作っていくことが 発展に寄与する

## アクティビティの特性



アクティビティごとの実施回数, 回数平均

アクティビティ	実施回数	単独	割合	平均
風景	798回	75回	9%	3.3個
特産品などの買い物・飲食	607回	39回	6%	3.6個
温泉浴	548回	79回	14%	3.1個
名所・旧跡	448回	20回	4%	3.7個
ドライブ	313回	7回	2%	3.8個
レジャーランド	256回	63回	25%	3.0個
動植物園・水族館博物館・美術館	233回	7回	3%	3.9個
社寺	184回	15回	8%	3.6個
海水浴	175回	48回	27%	2.6個
スキースノーボード	96回	74回	77%	1.3個
祭り伝統行事	86回	6回	7%	3.6個
博覧会イベント	80回	12回	15%	3.1個
登山ハイキング	52回	5回	10%	3.3個
キャンプ	45回	4回	9%	4.2個
ゴルフ	33回	6回	18%	2.9個